

神戸5 配水管末端における残留塩素濃度の遠隔監視

求める技術：②

1 課題を抱える業務の内容

配水区域の末端は水の滞留が発生しやすいことから、水質自動監視装置によるリアルタイム監視に加え、市内約600箇所のドレン等において、職員が巡回により残留塩素濃度の測定を行っています。また、低残塩地区については、常時放水による水質維持を図っています。

2 課題の詳細

残留塩素濃度が低下しやすい時期を重点的に測定していますが、箇所数が多く移動に時間がかかるから、効率化を図る必要があります。また、効率化により測定頻度を増やすことができれば、測定データを活用し、塩素注入率や常時放水箇所の最適化を図ることができます。

3 こんな技術を求めています！

- 既存ドレン等に設置可能な小型の長寿命バッテリー型測定装置で、かつ無線通信でクラウドへのデータ伝送が可能な技術

4 技術の導入により代替が期待される業務

残留塩素測定業務

5 事業規模・業務量

測定箇所：約600箇所